

厚生労働省  
岐阜労働局発表  
平成23年5月13日

労働基準部 健康安全課  
課長 渡邊 福三  
地方産業安全専門官 中島 一成  
電話 058-245-8103

## 平成22年における岐阜県内の労働災害発生状況について

### 建設業での死亡災害が大幅な増加となる

岐阜労働局（局長 矢部憲一）は、平成22年（1月～12月）の1年間に岐阜県内で発生した労働災害の発生状況を取りまとめた。

#### 1 労働災害の現状

死傷災害（休業4日以上災害および死亡災害の合計）は長期的に減少傾向にあり（グラフ1）、平成21年は統計を取り始めた昭和48年以降、最も少ない件数となったが、平成22年は2,100人となり、132人（6.7%）の増加となった。（表1）

また、死亡災害は24人で前年に比べ2人増加したが、ここ数年は増減を繰り返している。（グラフ1）

#### 2 死亡災害の発生状況

平成22年の死亡災害を業種別（表1）にみると、建設業で11人と最も多く、次いで商業等の事業5人、製造業4人となり、特に建設業では前年の4人と比較し大幅な増加となっている。

また、事故の型別（表2）では、仮設物、建築物等からの「墜落・転落」が7人、乗物等による「交通事故」が6人、地山等の「崩壊・倒壊」及び動力機械等による「はさまれ・巻き込まれ」が各3人となっている。

#### 3 死傷災害の発生状況

平成22年の死傷災害を業種別（表1）にみると、商業等の事業で724人と前年に比べ90人（14.2%）、製造業で730人と前年に比べ39人（5.6%）などと増加している一方、建設業では12人（-3.8%）の減少となった。

また、事故の型別（表2）では、「転倒」によるものが431人（20.5%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が355人（16.9%）、「はさまれ・

巻き込まれ」が343人(16.3%)、「切れ・こすれ」が187人(8.9%)となっている。また、年齢別(グラフ2)では、50歳以上の高年齢労働者が964人(45.9%)で全体の約半数を占めている。

#### 4 まとめ

休業4日以上労働災害を対象として統計を行うようになった昭和48年以降、平成21年が過去最小となったものの、平成22年は増加に転じた。

このため、今後、岐阜労働局及び県下7つの労働基準監督署においては、労働災害を着実に減少させるために、それぞれの事業場において、職場のリスクを低減させる手法であるリスクアセスメント(職場における危険性又は有害性の特定、リスクの見積り及びその結果に基づくリスク提言措置)の導入への指導を図り、安全衛生管理水準を向上させ、誰もが安全で安心して働ける快適な職場環境の形成を促進することとしている。

グラフ1（労働災害の推移）

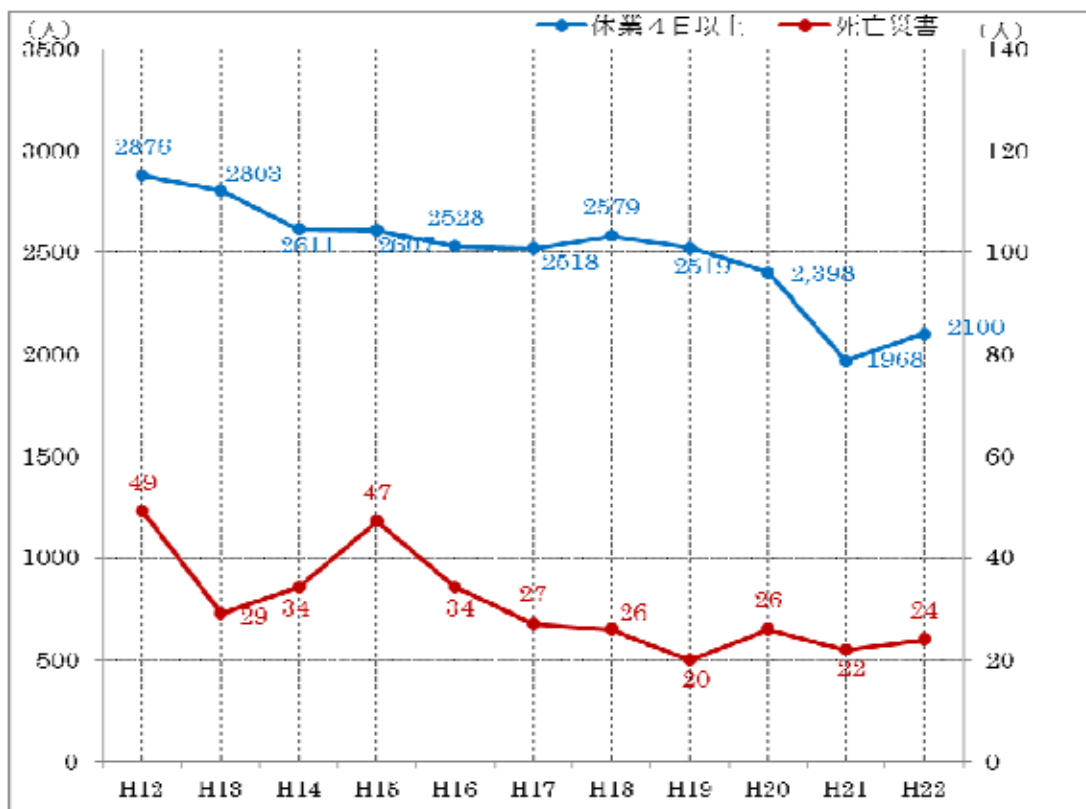


表1（業種別・年別の労働災害発生状況）

業種	年別		対前年比		増減数	死者増減率	構成比
	平成22年	平成21年	増減数	死者増減率			
全産業	2100 (24)	1,968 (22)	132	(2)	6.7%	100.0%	
製造業	730 (4)	691 (6)	39	(-2)	5.6%	34.8%	
鉱業	5	5	0	(0)		0.2%	
建設業	300 (11)	312 (4)	-12	(7)	-3.8%	14.3%	
運送業	214 (2)	210 (3)	4	(-1)	1.9%	10.2%	
農林・畜産・水産業	127 (2)	116 (2)	11	(0)	9.5%	6.0%	
商業等の事業	724 (5)	634 (7)	90	(-2)	14.2%	34.5%	
商業	263 (2)	217 (2)	46	(0)	21.2%	12.5%	
保健衛生業	94	84 (1)	10	(-1)	11.9%	4.5%	
接客娯楽	169 (1)	149 (2)	20	(-1)	13.4%	8.0%	
その他の事業	198 (2)	184 (2)	14	(0)	7.6%	9.4%	

労働者死傷病報告による休業4日以上の死傷者数を統計したものです。

( ) の数値は死亡者数を内数で示しています。

表2 平成22年起因物別・事故の型別の死傷災害発生状況

事故の型 起因物	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	巻き込まれ・はさまれ	切れ・こすれ	高温の物と接触	交通事故	無理な動作・無動作の反動	左記以外	計
動力機械	13 (1)	7	5	22	1	11	197 (2)	118	7	0	1	1	<b>383 (3)</b>
物上げ装置、運搬機械	93	32	22	14	0	21	73 (1)	1	1	121 (6)	4	0	<b>382 (7)</b>
その他の装置等	102 (2)	60	22	31 (1)	24	24	43	53	17	1	12	2	<b>391 (3)</b>
仮設物、建築物、構築物等	121 (3)	256	32	4	3	2	5	0	1	0	9	2 (1)	<b>435 (4)</b>
物質、材料	6	17	5	48	19	6	12	10	5	0	7	9 (1)	<b>166 (1)</b>
荷	5	11	1	11	5	7	11	2	0	0	16	0	<b>69</b>
環境等	15 (1)	42	1	25 (1)	11 (3)	28	1	2	10	1	11	1 (1)	<b>148 (6)</b>
その他	0	6	0	2	0	4	1	1	0	1	125	8	<b>148</b>
計	<b>355 (7)</b>	<b>431</b>	<b>88</b>	<b>157 (2)</b>	<b>63 (3)</b>	<b>103</b>	<b>343 (3)</b>	<b>187</b>	<b>41</b>	<b>124 (6)</b>	<b>185</b>	<b>23 (3)</b>	<b>2100 (24)</b>

注) カッコ内の数値は死亡者数を内数で示したものです。

グラフ2 年齢別の労働災害発生状況

